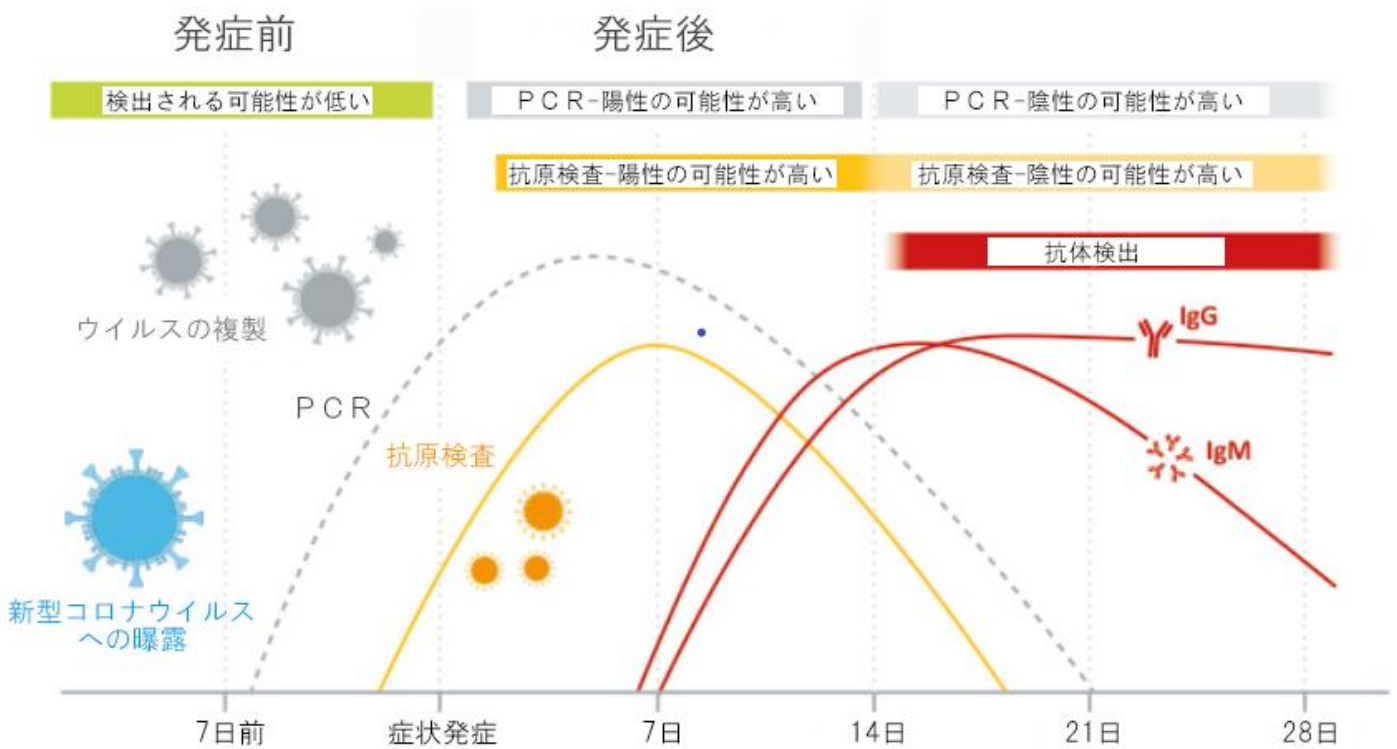


チームこほく

令和3年6月 **13**号 中央検査技術科

新型コロナのPCR検査・抗原検査・抗体検査 一体どう違うの?!

新型コロナウイルスの検査には、PCR検査・抗原検査・抗体検査の3通りの方法があります。今回は、それぞれの検査の違いについて解説いたします。



PCR検査と抗原検査は感染初期から検出可能で「現在感染しているか」を確認できます。一方、抗体検査は抗体(IgGやIgM)が体内で作られるまでに2~3週間を要するため、その時点での感染の有無を知る手がかりとはなりません。「過去に感染したか」を確認できます。(上図参照)

新型コロナ 検査の主な違いと特徴

	目的	検体	検査対象と精度	所要時間
PCR	現在、感染しているかを調べる	鼻の奥などの粘膜	ウイルスの遺伝子配列を増幅して検出。精度は高い	数時間程度
抗原			ウイルス特有のタンパク質(抗原)を使い検出。精度はPCR検査より劣る	15~30分
抗体	過去に感染していたかを調べる	血液	感染後、体内にできるタンパク質(抗体)を検出。精度は定まっていない	数十分

■ PCR検査

ウイルスの一部分の遺伝子を取り出し、増幅させて検出する方法。時間がかかるが**精度が高い**。

■ 抗原検査

ウイルスの特有のタンパク質の一部分を検出する方法。時間は短い、精度が低い。

■ 抗体検査

感染後に、形成されるタンパク質(抗体)が体内にあるかどうかを検出する方法。

★ 湖北病院では、感度の高いPCR検査を行っております。(検査代のみ公費負担です)

・発熱などの症状があり、感染が疑われる方は、病院に来る前に、電話(82-3315)にてご相談ください。